



「日本遺産」認定のまち 忍びの里伊賀・甲賀

【問い合わせ】
忍びの里伊賀甲賀忍者協議会事務局
伊賀市観光戦略課 ☎0595-22-9670
甲賀市観光企画推進課 ☎0748-69-2190



◆ 忍者と“くすり”

忍者はくすりに関する深い知識を持ち、日々の生活や任務に役立てていました。

古くから伝わる忍術書には、兵糧丸や水濁丸などの「忍者食」をはじめ、眠気覚ましや腹痛に効く「くすり」の作り方などが書かれています。また、敵の気を抜くアハウ（阿呆）薬などの「秘薬」や、放火のための火薬の調合法もあり、さまざまなことにくすりを活用していたことがわかります。

さらに忍者は薬売りに変装し、たやすく諸国へ潜入して情報収集もできたようです。



兵糧丸



やげん薬研

甲賀市くすり学習館（甲賀市甲賀町大原中 898-1）
企画展「リアル 甲賀忍者～くすりを活かす知恵～」を開催中
忍者とくすりの関係をわかりやすく解説・展示しています。
令和7年9月28日まで
【問い合わせ】 ☎0748-88-8110

詳しくはこちら▶



情報交流ひろば

となりまち いが・こうか・かめやま

甲賀市

国スポ・障スポ 開催1年前イベント 「KOKA スポーツフェスタ」を開催します！

開催1年前にせまった、「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」に向けたイベント、「KOKA スポーツフェスタ」を開催します。

オリンピックメダリストの有森裕子さんをはじめ、人気お笑い芸人の藤崎マーケットさんなども登場し、スポーツ体験やスタンプラリー、ゲストによるステージ、大抽選会などイベントが盛りだくさんの一日です。ぜひお越しください！

【とき】 11月16日(土) 午前10時から

【ところ】 甲賀市水口スポーツの森
陸上競技場・多目的グラウンド
(甲賀市水口町北内貴 230)

【問い合わせ】

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ甲賀市
実行委員会
☎ 0748-69-2253 詳しくはこちら▶



亀山市

亀山トリエンナーレ 2024

亀山トリエンナーレは、3年に一度開催される現代アートの芸術祭で、今回は、国内外から81組のアーティストが参加するほか、かめやま文化年2024の特別企画として、展示場所を閑地区、坂下地区にも拡大し、さまざまな作品が市内各所を彩ります。ぜひ、ご来場ください。

【とき】 11月16日(土) まで
午前10時～午後5時
(最終日は午後4時30分まで)

【ところ】 亀山市内各所（東町商店街、市文化会館、旧館家住宅、加藤家屋敷跡、旧佐野家住宅、旧田中家住宅、旧落合家住宅、鈴鹿峠自然の家ほか）

【観覧料】 無料

※ただし、旧館家住宅のみ 500円が必要

【問い合わせ】

○亀山トリエンナーレ事務局
☎ 090-8950-3011 (森)

○亀山市文化課文化創造グループ
☎ 0595-96-1223 詳しくはこちら▶



伊賀城和 (伊賀・山城南・東大和) 定住自立圏ニュース



伊賀城和

伊賀市

笠置町

山城南村

山添村

第2弾

首長インタビュー 伊賀城和定住自立圏への思い

笠置町

伊賀市、笠置町、山城南村、山添村の3府県4市町村で構成されている定住自立圏は、古くから経済面や生活面での結びつきが非常に強く、府県を超えて東海と近畿の発展・活性化にもつながる重要な圏域である。

本町では、カヌーやキャンプ、紅葉ライトアップなど自然を活用した観光スポットや、史跡が数々ある歴史と観光の町であり、さらなる地域活性化につなげるための観光政策を進めている。

圏域内では、伊賀市、笠置町、山城南村、山添村の地域の特色を生かした取り組みを進めていきたいと考えており、各市町村職員や住民の方を通して、地域の課題、特色を共有しながら、観光、防災、公共交通などさまざまな分野において連携強化を図っている。



笠置町長 山本 篤志

【最近のマイブーム】
列車からの車景を眺めること



3府県4市町村が一体となって、交流人口の増加や、生活機能の強化、定住促進など各地域がより活性化する取り組みや、緊急災害時における連携体制の強化など住民の方々が安心して暮らしていける圏域となるよう取り組んでいきたい。

山城南村



山城南村村長 平沼 和彦

【最近のマイブーム】
ナンバーは、全て3番
サード長嶋、背番号3



伊賀城和定住自立圏は、人口の一極集中と、総人口の減少および少子高齢化が進む中で、地方が安心して暮らせる取り組みとして伊賀市を中心に形成された。

本村は、平成28年10月4日に協定を締結し、

非常に多くの恩恵を受けている。インフラが十分に整っていない本村にとって、病児保育、高校進学、病院、環境、買い物、流通、就職などがそうである。このような、生活、経済面で整備された中心市の存在が、移住・定住の促進につながっている。

本村では、「住民が主役」を行動方針として、特に子育て支援や、高齢者福祉に力を入れている。また、地域公共交通（村タク）など、誰もが安心して暮らせる村の実現に向け先進的に取り組んでいる。現在は、高齢者福祉施設誘致を進め、健康福祉先進地として、健康長寿村をめざしている。

これからも圏域内の相互の役割を少しでも分担し、連携と協力を進められるよう取り組んでいく。